

Ⅶ 事業方式・事業スケジュール

1. 事業方式

事業方式には以下に示すように、大別して、設計者、工事施工業者、管理運営者を個々に選定する分離発注方式と設計者、工事施工者、さらには管理運営者を一括で選定する一括発注方式の2種類があります。また、一括発注方式には一括発注する範囲や資金調達的方式等の違いにより、DB方式、DBO方式、PFI方式があります。総合スポーツセンターの整備においては、これらの手法のメリット・デメリットを比較検討し、最適な事業方式を採用することとします。

(1) 分離発注方式

市が基本設計、実施設計をそれぞれプロポーザル等の手続きにより選定・実施した後に、工事業者を入札により選定する方式。管理運営者は、開業までに選定する（実施設計後に、運営方法を決めて維持管理費を概算し、プロポーザル等により指定管理者を選定）。

(2) 一括発注方式

■DB (Design Build) 方式（設計・工事施工業者の一括選定）

市が起債や交付金等により資金調達を行い、施設の設計・建設を行う民間業者を一括して選定する方式。

管理運営者は、従来方式と同様に工事完了までに指定管理として別途選定する（実施設計段階で、維持管理費を算定したうえで、プロポーザル等により管理運営方法等の提案を求める）。民間への依存が小さいため、次のDBOにくらべて民間が負うリスクは小さい。

■DBO (Design Build Operate) 方式（設計・工事施工業者・管理運営者の一括選定）

市が起債や交付金等により資金調達を行い、施設の設計・建設・運営を行う民間業者を一括選定し、包括的に委託する方式。

市は施設を所有し、指定管理により民間事業者に対して施設の使用権あるいは使用許可を与える。整備期間の短縮が可能である。

■PFI (Private Finance Initiative) 方式（設計・工事施工業者・管理運営者の一括選定、民間の資金・経営能力・技術ノウハウを活用）

PFI法に基づいて、施設の設計・建設・運営を行う事業者を一体的に選定する方式。公共施設等の建設、運営などを民間の資金・経営能力・技術ノウハウを活用して行うことにより、効率的かつ効果的な公共サービスを提供することを目的としている。また、財政負担の平準化が可能である。選定された事業者は特定目的会社を組織し、施設を設計・建設した後に、施設の所有権を市に移転し、決められた事業期間の運営を行う。

2. 事業スケジュール

総合スポーツセンターのオープンは平成32年度前期を予定しており、それを踏まえた工程計画が重要となります。

総合スポーツセンターの整備に先立って、建設予定地である多目的広場の代替となる多目的広場および駐車場の整備を行います。

選択する事業方式によって、施設オープンまでのプロセスが異なるため、分離発注方式を採用した場合と一括発注方式を採用した場合の2パターンの事業スケジュールを記載しています。

